



令和4年度

第4回 肝臓病教室

新聞版

HPで動画配信した「肝臓病教室」の 新聞版 です！

「医療費助成 ～検査から治療まで～」

弘前大学医学部附属病院
肝疾患相談センター 相談員 小杉あおい

肝臓は「沈黙の臓器」

B型、C型肝炎は感染に気付かないまま放置すると、肝硬変や肝がんを発症する恐れがあります。肝臓はなかなかSOSを出しません。肝炎ウイルス検査を受け、早期に肝炎を発見し、肝がんを予防しましょう。青森県では、肝炎を重症化させないステップ「肝炎ウイルス検査から治療後の経過観察まで」それぞれの段階で活用できる医療費助成を実施しています

(肝炎を重症化させないためのステップ)

検査

精密検査

治療

経過観察



(活用できる医療費助成)

無料
肝炎ウイルス検査初回精密検査
費用の助成B型・C型肝炎治療の
医療費助成定期検査
費用の助成肝がん・重度肝硬変に
係る医療費助成

肝炎ウイルス検査を受けたい方

B型、C型肝炎に感染しているかどうかは血液検査でわかります。検査を受けたことがない方は無料で検査が受けられます

対象者	過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方
検査場所	県の指定医療機関（県内に134施設）※県のHPでご覧いただけます
検査項目	B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査 ※いずれかを選んで検査を受けることができます



肝炎ウイルス検査が陽性だった方

肝炎ウイルス検査で陽性と判定されてから1年以内に指定医療機関で受ける**初めての精密検査費用が助成されます**

対象者	<ul style="list-style-type: none">自治体や職域での検診、市町村の妊婦検診、手術前の検査での肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方県や市町村が実施するフォローアップ事業に同意した方 ※ フォロアップ事業：適切に受療や自己管理ができるようにフォローすること
助成対象	県の指定医療機関で受けた精密検査※血液検査、超音波検査、初診料、再診料、ウイルス疾患指導料

B型・C型肝炎の治療（抗ウイルス療法）をする方

B型・C型肝炎治療の**薬剤に対する医療費が助成されます**

対象治療	B型肝炎	インターフェロン治療 核酸アナログ製剤治療	助成期間中の 自己負担額	世帯の市町村民税	自己負担額
				所得割 23.5万円未満	月 1万円
	C型肝炎	インターフェロン治療 インターフェロンフリー治療		所得割 23.5万円以上	月 2万円

ウイルス性の肝がん・重度肝硬変で治療をしている方

B型・C型肝炎ウイルスが原因の**肝がん、重度肝硬変で入院、また肝がんで通院治療となったときの医療費が助成されます**

- B型・C型肝炎ウイルスが原因の肝がん・重度肝硬変と診断された方
- 世帯年収が おおよそ 370万円以下である方
- 肝がん・重度肝硬変で入院、また肝がんで分子標的薬を用いた化学療法や肝動注化学療法で通院治療を受けている方
- ③の治療に係る医療費について 高額療養算定基準額を超えた月が過去1年間に3月以上あり、3月目以降は指定医療機関での入院、通院診療であること

肝がん・重度肝硬変で 入院した場合	入院医療費の窓口の自己負担額が1万円
肝がんで分子標的薬を用いた化学療法、 肝動注化学療法で 通院治療した場合	窓口負担分を支払い、後日自己負担額が1真万円になるよう県に償還払い請求

ウイルス性の慢性肝炎、肝硬変、肝がんで定期検査を受けている方

B型・C型肝炎ウイルスが原因の慢性肝炎、肝硬変、肝がんで受けている**定期検査費用が助成されます**

対象者	<ul style="list-style-type: none">B型、C型肝炎ウイルスを原因とする慢性肝炎、肝硬変、肝がんで指定医療機関を受診している住民税非課税世帯 または 市町村民税所得割が23.5万円未満の世帯現在、肝炎治療で受給者証の交付を受けていない県や市町村が実施するフォローアップ事業（適切に受療・自己管理）に同意した方
-----	--

助成対象の検査		助成回数	住民税非課税世帯	住民税課税23.5万円未満世帯
慢性肝炎	血液検査、超音波検査	年度内2回	無料	2千円自己負担
肝硬変・肝がん	血液検査、超音波検査、CT、MRI			3千円自己負担

医療費助成を受けるにはいくつかの条件と手続きが必要です。詳しくは 青森県、保健所、肝疾患相談センター へご相談ください

青森県健康福祉部 がん・生活習慣病対策課 017-734-9216

●○●○● 肝疾患に関するご相談・ご質問は 肝疾患相談センターへ ●○●○●
〒036-8563 弘前市本町53 TEL 0172-33-51111 内線 4020